

第2節 授業実践例（学び）～教科・科目～

「持続可能な『まちづくり』に参画しよう」

1 教科名等

- (1) 教科・科目 **地理歴史「地理総合」**
- (2) 単元名 自然環境と防災—近年の風水害から持続可能な「まちづくり」を考える—

2 単元のねらい

- (1) 我が国で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色や自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解できるようにする。
- (2) 特に風水害に対応したハザードマップや新旧地形図など各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめることができるようにする。
- (3) 地域性を踏まえた防災について、適切な主題を設定し、特に風水害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・近年、生活圏で発生している自然災害（特に風水害）を調べ、その発生原因となる自然環境や人間活動との関わりを理解している。 ・災害の危険が高まった時に必要な備えや対応を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な「まちづくり」に着目して、風水害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・風水害に対応したハザードマップなど各種の地理情報を収集し、読み取り、図表などに分かりやすくまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏で発生する風水害からの防災・減災について関心と課題意識を高め、意欲的に主題を設定しようとしている。 ・持続可能な「まちづくり」の実現を視野に、そこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

4 単元の指導と評価の計画 a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度


時	学習内容	学習活動	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	生活圏の自然環境と自然災害	・神奈川県 of 自然環境の特徴と自然災害との関係を理解する。	○			・自然環境と自然災害との関係を理解している。	
2	風水害の発生しやすい地域の自然及び社会的要因	・様々な地理情報を活用し、生活圏で発生してきた風水害の自然及び社会的要因を考察する。		○		・様々な地理情報を有効に活用しながら、自然災害（風水害）の要因を考察し表現している。	ワークシート
3		・生活圏における防災体制の現状を理解し、避難所の場所や家庭での備えの状況が適切かどうか分析する。				・大雨や台風などの際に考えられる具体的な風水害を想定し、どのように行動すればよいか考えている。	

<p>4 (本時)</p>	<p>風水害から身を守るために</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生活圏で風水害の危険に直面した場合、自宅や通学経路、学校でどのような行動を取ったらよいか考え、日頃の備えの重要性を理解する。 持続可能な「まちづくり」に向けた課題解決のための主題を設定する。 	<p>○</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調べた地域の防災情報をもとに、自然および社会的条件に合わせた避難計画や防災のための施策の在り方について考察し、風水害に強い「まち」について考察し表現している。(課題提出後に評価) 主題設定のための情報収集に主体的・協働的に取り組んでいる。 	<p>レポート課題</p>
-------------------	---------------------	--	----------	----------	--	---------------

5 授業実践例

本時のねらい

生活圏における防災について、自然及び社会的条件との関わりや持続可能な「まちづくり」などに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。

学習内容 (○)・活動 (●)	教職員の支援等	評価方法
<p>1 前時の復習</p> <p>●神奈川県で発生した風水害の歴史と被害の状況、さらに年々被害が大きくなっている原因を確認する。</p> <p>2 風水害による被害から身を守るための備えと対応</p> <p>○自宅や通学経路、学校で風水害の危険と直面した場合、どのような行動を取ったらよいか考え、日頃の備えの重要性を理解する。</p> <p>●自宅や通学経路、学校がある地域のハザードマップや新旧地形図などの地理情報から風水害の危険性を調べる。(※参考資料等①②)</p> <p>3 風水害に強い「まちづくり」に必要な取組について考え、実践してみよう</p> <p>●風水害に強い「まち」とは何かを考え、身近な地域の防災について調べる。</p> <p>○調べた結果をもとに防災情報や避難計画などの防災施策の有効性について考えさせる。</p>	<p>◇風水害の発生しやすい地域と自然環境(地形、気候など)と社会的要因について、具体的な災害ごとに発問等で生徒の考えを共有させる。</p> <p>◇生徒が ICT 機器を活用し、WEB GIS の情報から風水害リスクとその対応を考察できるよう指示する。</p> <p>※参考資料等</p> <p>① ハザードマップポータルサイト</p> <p>② 地理院地図(電子国土Web 自然地形等レイヤ重ね合わせ図)</p>  <p>◇大雨や台風の際に発生が想定される河川の増水や道路冠水、倒木、土砂崩れ等について、対応策を考えさせる。</p> <p>◇調べた地域の防災情報をもとに、あらゆる事態を想定した現実的な避難計画が立てられるか考えさせる。</p> <p>◇防災のための施策について現状の問題点や改善点を考えさせる。</p>	<p>ワークシート</p> <p>レポート課題 (レポートは個人またはグループでの作成を可とし、適切な作成期間を設定する)</p>

第II章 防災教育に係る指導内容及び指導上の留意点

「風水害に備えよう」

1 教科名等

(1) 教科・科目 理科「科学と人間生活」

(2) 単元名 身近な自然景観と自然災害

2 単元のねらい

自然景観の成り立ちとその変化、自然災害について観察、実験などを通して理解させるとともに、常に変化し続けている自然景観とそれを引き起こす作用について関心を高める。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりにある自然景観の成り立ちと自然災害の特徴を知り、事前の備えや対応について理解している。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然景観と自然災害に関する観察、実験などを見通しをもって行い、自然災害がもたらす被害とその原因を科学的に考察し、表現している。 各種情報から想定される自然災害を見だし、防災に係る現状の課題点と解決策について科学的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりにある自然景観や自然災害に関する事物・現象に進んで関わり、防災について関心と課題意識を高め、科学的に探究しようとしている。 防災の視点から持続可能な「まちづくり」について、主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

4 単元の指導と評価の計画 a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度




時	学習内容	学習活動	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	地形の成り立ち	身のまわりにある自然景観に関心をもち、その成因や日本列島の特徴、プレートの動きを理解する。			○	身のまわりにある自然景観の成り立ちについて関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	問題演習 定期試験 課題レポート
2		日本の火山活動に関心をもち、火山の噴火や火山の形のでき方について理解する。	○				
3	地震活動と地表の変化	地震に関心をもち、地震の発生するしくみについて理解する。	○			日本列島の地震活動と地震の発生のおしくみを理解している。	問題演習 定期試験
4	水のはたらきと地表の変化	河川の運搬・堆積作用を調べ、河川や海水のはたらきによって形成される地形について考察し、表現する。		○		河川や海水のはたらきによって多様な景観ができることを考察し、表現できる。	実験レポート

5	自然災害とその防災	・自然災害について関心を持ち、防災の視点から持続可能な「まちづくり」について考える。		○	・自然災害について関心を持ち、防災の視点から持続可能な「まちづくり」について、主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	問題演習 定期試験 課題レポート
6 (本時)		・風水害時の対応や日頃の備えについて、各種情報から科学的に考察し、表現する。		○	・各種情報から想定される自然災害を見だし、防災に係る現状の課題点と解決策について科学的に考察し、表現している。	

5 授業実践例

本時のねらい

風水害に関する基本的な理解を深め、各種情報を収集し、読み取り、学校周辺や通学路の危険な箇所を把握し、災害時の対応や日頃の備えについて考え、表現する。

学習内容 (○)・活動 (●)	教職員の支援等	評価方法
<p>1 前時の復習</p> <p>●風水害の仕組みとそれを防ぐための方法について確認する。</p>	<p>◇風水害について、いくつか具体的な例を挙げ、生徒の考えを共有する。</p>	課題レポート
<p>2 危険箇所の把握</p> <p>○学校周辺や通学路で風水害に直面したときの対応や日頃からの備えについて考える。</p> <p>●各種資料を用いて、学校周辺や通学路の危険箇所を把握し、白地図にまとめ、具体的な対応策や日頃からの備えについて考える。</p>	<p>◇生徒が ICT 機器を活用し、風水害時の対応や危険箇所が把握できるよう支援する。</p> <p>※各種資料</p> <p>①国土交通省 地点浸水シミュレーション検索システム </p> <p>②洪水ハザードマップについて (神奈川県 HP) </p> <p>③洪水や土砂災害に備えよう (神奈川県 HP) </p>	
<p>3 風水害時の対応や日頃の備えについて共有</p> <p>○予測できる自然災害 (特に風水害) について、日頃から対応を考え、備えておくことの重要性を理解する。</p> <p>●風水害時の具体的な対応をグループごとに発表し、共有する。</p>	<p>◇台風や集中豪雨の際に想定される災害について、対応策を考えさせる。</p> <p>◇防災に係る現状の課題点や解決策について考えさせる。</p>	

第II章 防災教育に係る指導内容及び指導上の留意点

「住生活から防災を考える」

1 教科名等

- (1) 教科・科目 家庭「家庭基礎」
- (2) 単元名 (3) 住生活と住環境

2 単元のねらい

- (1) ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解を図るとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- (3) 防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境について、主体的に工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解するとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。	・生涯を見通して、住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい住生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境について、工夫し創造し、実践しようとしている。

4 単元の指導と評価の計画 a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

時	学習内容	学習活動	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1	住居の機能	・住居の機能や気候風土による各地域の住居の特徴や変遷などを理解する。	○			・住居の機能や気候風土による各地域の住居の特徴や変遷などを理解している。	定期試験 ワークシート
2	平面図を理解する	・基本的な平面表示記号、間取り図等を理解し、物件情報を読み取る。	○			・基本的な平面表示記号、間取り図等を理解し、物件情報を読み取ることができる。	定期試験 ワークシート
3	ライフステージに応じた住生活の特徴	・各ライフステージに応じた住生活の特徴や間取り図等を理解し、さまざまな住まい方について考える。			○	・各ライフステージに応じた住生活の特徴や間取り図等を理解し、住まい方の課題解決のための考えをまとめている。	ワークシート

第二章 防災教育に係る指導内容及び指導上の留意点

4	安全で快適な住生活	<ul style="list-style-type: none"> 採光、換気、遮音など室内環境について理解し、適切な住居の管理に必要な技能を身に付ける。 防火や防犯について理解し、対策を考える。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 採光や換気、遮音など室内環境について理解し、適切な住居の管理に必要な技能を身に付けている。 防火や防犯など安全に配慮した住生活について問題を見いだして解決する力を身に付けている。 	定期試験 ワークシート
5 (本時)	住生活から防災を考える	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害の対策について理解し、安全対策として自分たちにできる取組を考える。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害時に必要な安全対策について自分たちにできる取組を考え工夫し実践しようとしている。 	ワークシート 発表
6	これからの住生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康、快適、安全、持続可能な社会の構築などの視点から、より良い住生活の実現について考える。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 健康、快適、安全、持続可能な社会構築の視点から、より良い住生活について考え、安全や環境に配慮した住生活について振り返って改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。 	ワークシート

5 授業実践例

本時のねらい

安全や環境に配慮した住生活から防災を考え、日頃から防災へ関心を持つことや備えが大切であることを認識させ、いざというときに行動につなげる態度を身に付けさせる。

学習内容 (○)・活動 (●)	教職員の支援等	評価方法
<p>1 本時の目標について</p> <p>2 自然災害への備えと工夫について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自宅で行っている対策や備蓄品などをチェックする。 ○映像等で災害時の被害状況を見て、防災対策が必要なことを知る。 <p>3 住まいや地域の災害対策、災害時の備えについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ハザードマップや地域の取組についても調べ、自助・共助・公助での備えについて知る。 ○自然災害への備えについて考える。 <p>4 災害時に何ができるか考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全対策として自分たちにできる取組を考え、グループでより良い工夫を考え、発表する。 <p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本時の学習内容を振り返り、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自宅での対策は十分であったか確認させ、また、家具の配置や固定の他、動線の整理整頓、家電・火気の管理などについての必要性も考えさせる。 ◇映像を見せるときには、生徒の状況等を配慮する ※参考資料 内閣府【通常版】(水害編)警戒レベルに関する映像 ◇災害時の家族の役割分担、避難場所や避難方法、連絡方法などを家族で話し合う必要性について考えさせる。 ◇備蓄品や非常時持ち出し品について内容の確認、賞味期限の確認、保管場所についても考えさせる。 ◇発表に注目させ、他の班の意見も共有するよう伝える。 ◇食の備えとして、ローリングストック法やポリ袋炊飯や調理についてなど節水の工夫を紹介する。 ◇日頃から住環境を整える必要性や地域住民との協力の必要性について考えさせる。 ◇学習を通して学んだことや自分の考えが変わったことについて記入するよう指示する。 	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p> <p>ワークシート 発表</p> <p>ワークシート</p>

第II章 防災教育に係る指導内容及び指導上の留意点

「運動時における様々な危険予測と危険回避」

1 教科名等

- (1) 教科・科目 **保健体育「体育」**
- (2) 単元名 **体育理論 2 運動やスポーツの効果的な学習の仕方**

2 単元のねらい

- (1) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
- (2) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。
- (3) 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害 ②スポーツの技術と技能及びその変化 ③運動やスポーツの技能の上達過程 ④運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 以上①～④について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、理解したことを言ったり書き出したりしている。	①運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況と関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見している。 ②運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予測し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。	①運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。

4 単元の指導と評価の計画 a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

時	学習内容及び学習活動	評価の観点			評価規準	評価方法
		a	b	c		
1	【運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害】 ・運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害について理解する。 ・学習した知識について概念と自己の状況と関連付けたりして、自己や社会について課題を発見する。	①		①	知識① 主体的に学習に取り組む態度①	ワークシート 観察
2	一斉授業・グループワーク・発表		①		思考・判断・表現①	
3	【スポーツの技術と技能及びその変化】 ・スポーツの技術と技能及びその変化について理解する。 一斉授業・個人ワーク	②			知識・技能②	ワークシート

第二章 防災教育に係る指導内容及び指導上の留意点

4	<p>【運動やスポーツの技能の上達過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの技能の上達過程について理解する。 ・学習した知識について自己や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて他者に伝える。 <p>一斉授業・グループワーク</p>	③	①	知識・技能③ 思考・判断・表現①	ワークシート 観察 発表
5	<p>【運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について理解する。 	④		知識・技能④ 主体的に学習に取り組む態度①	ワークシート 発表
6 <small>(本時)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝える。 <p>グループワーク・発表</p>		②	思考・判断・表現②	

5 授業実践例

本時のねらい

運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えることができるようにする。【思考・判断・表現】

学習内容 (○)・活動 (●)	教職員の支援等	評価方法
<p>1 前時の復習・本時の説明</p> <p>●けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法をグループで確認する。</p>	◇前時の授業で学んだ内容について、発問して引き出すとともに、本時の流れを説明する。	ワークシート
<p>2 運動時の健康・安全とは</p> <p>○運動やスポーツの活動時における健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えること。</p> <p>●様々な運動やスポーツ時におけるけがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の各場面での適切な対応方法をグループで考えて発表する。</p>	◇気象条件や自然環境の変化などから予測される危険について取り上げることや各運動やスポーツの場面に応じた対処法などこれまでに学習した内容を、まとめたり、図にしたりして分かりやすく発表するよう前時のグループワーク時からあらかじめ伝えておく。	発表
<p>3 総括</p> <p>●授業で学んだことグループで話し合ったことを個人でワークシートにまとめる。</p>	<p>◇各グループの発表をもとにまとめさせるとともに、机間指導等を行い、好事例を全体で共有する。</p> <p>◇各運動領域に共通する危険を予見し、回避するための概念を理解できるように促す。</p>	ワークシート